

交渉情報	NO.33	日本郵便(株)信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2022年10月13日	添付資料:12枚

2022年度年賀差立集中処理および2パス集中処理について

日本郵便(株)信越支社 郵便・物流オペレーション部は、本日(10月13日)「2022年度年賀差立集中処理および2パス集中処理」について、地方本部に説明してきました。

標記概要は、短期間で機械を活用した効率の良い作業を行うにあたり、年賀郵便物の差立集中処理および2パス集中処理および区分機配備局において年賀郵便物の円滑な業務運行を確保するため、深夜勤務を実施するものです。

1. 集中処理計画・年賀配達結束基準

年賀郵便物差立集中処理計画は、支社資料②の「別紙1」、年賀配達結束基準は、支社資料②の「別紙2」を参照してください。

2. 地域区分局の結束予定便

地域区分局の結束予定便は、支社資料②の「別紙3」を参照してください。

3. 手区分処理体制

地域区分局、年賀2パス集中処理一般局および被集中局の12月29日(木)から31日(土)の年賀郵便物結束の流れの基本について、支社資料②の「別紙4-1」および「別紙4-2」に記載されていますので参照してください。

4. 地域区分局における処理体制

地域区分局は、区分機配備局からの差立継越年賀郵便物の処理要員を確保し、最先便への結束(当日の年賀増強便または年賀増強便(下1号便)前抜便)の確保。

また、到着から差立まで6時間以内で区分機処理を完了できるよう、専用のフラグ等(支社資料②の「別紙5」)を活用し、処理の進捗管理を図る。

5. 深夜勤務

今年度の深夜勤務実施局は、新潟局、長野東局、松本南局、新潟中央局、長野中央局および上田局の6局となります。

深夜勤実施期間について、新潟局および新潟中央局は、12月23日（金）から1月3日（火）までの11勤務12日間、それ以外の局は、12月24日（土）から12月31日（土）までの7勤務8日間で検討としています。

また、勤務時間については、支社から勤務パターン（支社資料②「別紙6」）を示し、各局で決定の上改めて情報提供を行うとし、要員配置については、深夜勤を実施する局は、区分機1台につき、深夜に正社員1名と期間雇用社員2名を配置し、必要に応じてビデオコーディング打鍵要員を増配置する。なお、深夜勤実施に伴う後補充は期間雇用社員で対応するとしています。

サービス表の改正については、必要に応じてルールに基づき意思疎通のうえ、サービス表の見直しを行うとしています。

なお、「深夜勤の勤務パターンに関する意思疎通について」の対象局および意思疎通方法については、支社資料③を参照してください。

【労使対応】 単局窓口および部会労使委員会（窓口）